

2021年3月31日

株主各位

大阪府中央区城見一丁目3番7号
松下IMPビル25階
クリヤマホールディングス株式会社
代表取締役CEO 能勢 広宣

第81回定時株主総会における質疑応答の概要

3月25日開催の当社第81回定時株主総会における質疑応答につきまして、その概要をご報告いたします。

- Q. 連結損益計算書の特別損失の減損損失について説明いただきたい。
- A. 特別損失につきましては、1,064百万円を計上しています。欧州事業の有形固定資産及び無形固定資産の減損損失が787百万円、千葉県固定資産の売却損254百万円が主な損失となります。
- Q. 連結貸借対照表の無形固定資産の「その他」596百万円の内容について説明いただきたい。
- A. 特許権（106百万円、(株)サンエー）、借地権（103百万円）、ソフトウェア（367百万円）等となります。
- Q. 連結貸借対照表の投資その他の資産の「その他」570百万円の内容について説明いただきたい。
- A. 破産更生債権156百万円と団体生命保険掛金368百万円が主な内容となります。
- Q. 欧州事業並びにアジア事業のその他事業「MONTURA」は赤字が続いているが、克服できる対処方針があるかについて聞きたい。
- A. ・欧州事業
アメリカのシェール市場向けに大口径ホースの販売拡大を狙って、2015年に欧州事業を買収しました。生産や在庫管理の方法が当社グループの手法とは違っていたこともあり、コンサルを入れて改善を進め、これから増産というタイミングでコロナの影響を受けました。また、原油価格が下がりシェール市場が縮小したことから昨年の業績は低迷しました。アメリカのシェール市場は回復傾向にあり、ヨーロッパのマーケティングも強化していますので今期の業績は好転するとみています。
- ・「MONTURA」
Eコマースの販売が伸びてきていますが、コロナの影響で店舗販売が振るいませんでした。コロナ禍の中、アパレル市場は厳しい環境にありますが、アウトドア向け商品については強い需要があります。大きなマーケットでもありブランド力を強化して対応してまいります。
- Q. 子会社の売掛金の管理について説明いただきたい。
- A. 日本では債権管理のシステムを使い、財務担当者を配置して管理しています。日本以外の北米グループ、中米グループ、ヨーロッパグループ等の各社でも、債権管理システムを利用したうえで、人的な管理も強化して問題なく対応できています。

以上